

優勝請負人！常勝ソフトバンクホークスを作り上げた工藤流組織マネジメント



く どう きみやす
工藤 公康

* 前福岡ソフトバンクホークス監督

■プロフィール

1963年愛知県生まれ。名古屋電気高校（現・愛工大名電）3年生の夏、全国高校野球選手権大会に出場し、ノーヒットノーランを達成するなど、ベスト4進出の原動力となる。同校卒業後、ドラフト6位で西武ライオンズに入団しエースとして活躍。2011年12月9日に引退するまで、4球団で現役実働生活29年、224勝をあげた。現役引退後は、プロ野球解説者・スポーツキャスターとして活躍するほか、筑波大学大学院でスポーツ医学を研究するなど、活動の場を広げる。2015年～2021年福岡ソフトバンクホークスの監督として3度のリーグ優勝、5度の日本一に導いた。現役生活で在籍した3球団で日本一、監督として5度の日本一に導いたため『優勝請負人』と呼ばれている。現在は、講演活動や全国各地での野球教室などを精力的に行い、社会貢献を軸に活動を広げている。

■主な著書

- 『10年先の自分』をつくる（2013年/KADOKAWA 中経出版）
- 『僕の野球塾』（2011年/講談社・α文庫）
- 『探究力。』（2010年/創英社）
- 『限界を作らない生き方』（2010年/ティー・シー・アール・シー/幻冬舎）
- 『47番の投球論』（2009年/ベスト新書）
- 『現役力』（2009年/PHP 研究所）

講演テーマ

1. 勝つための組織マネジメント

監督は”部長”。

「どのようなチーム組織を作りたいのか」「作らなければいけないのか」を常に組織内で共有することが大切。しかし、GM（社長）監督（部長）コーチ（課長）選手（平社員）の考え方は違って来る。一人一人の個性・可能性とは？組織とは？リーダーとは？に対して同じ認識、方向性にするために、常勝チームとして創り上げたマネジメント・コーチング論を経験に基づいてお伝えします。

2. 勝ち続けるための準備とシミュレーション

工藤理論”体心技”。

プロ野球生活29年、実働年数日本一を過ぎた秘訣・努力・苦悩など、工藤が考え行動してきたことをお伝えします。試合、練習の全てにおいて、まず必要なのは体のコンディショニング。その経験を監督となり、選手（社員）に対して自分が試合（仕事）にどう向き合いたいのかを考えさせ、行動させるために、首脳陣は選手（社員）にどのように活躍して欲しいのかを伝えることが必要になる。しかし、その前段階で行動させた結果が良い方向に向くように、首脳陣側では『計画・実行・評価・改善』の行動が必ず必要となる。監督時代に経験したことを軸に、自分がどのようにして組織をまとめたか、どの様な行動が大切なのかをお伝えいたします。